

# 「今後の大雪に関する対策」

## I 平成30年豪雪の概況

### ○嶺北地方を中心とした昭和56年豪雪以来の記録的大雪

- ・福井市では147cmの積雪、短時間で集中的な降雪
- ・高速道路の通行止めに伴い、国道8号で石川県境から福井市中心部にかけて最大1,500台の滞留が発生
- ・中部縦貫自動車道が通行止め、JR、地域鉄道、バスが運休
- ・灯油やガソリンなどの生活物資が不足し、学校・企業は休校・休業
- ・自動車保有台数の増加による、道路交通への依存の高まりの他、大型スーパーやコンビニ中心の物流など、社会情勢の変化が大きく影響

## III 今後の雪害に対する対応

### 【気象予報】

[気象庁に要請]

- ・気象情報の地域を細分化し、現在の12時間、24時間予報に加え、6時間などの短時間予報、48時間などの長時間予報を実施
- ・気象観測地点の新設など、気象観測体制の充実強化

### 【道路除雪】

- ・北陸自動車道は最大限の除雪に努め、通行止めを回避することが重要
- ・国道8号および中部縦貫自動車道は、通行止めや大規模な車両滞留を可能な限り回避することが重要

[北陸自動車道の冬期道路交通確保対策(NEXCO中日本)]

- ・降雪予測に応じて応援車両を事前配置し、除雪体制を強化
- ・融雪装置、監視カメラの増設、事前の救援車両の配備増設
- ・交通の集中を回避するため、広域迂回を行う 等

[国道8号冬期道路交通確保対策(国土交通省)]

- ・集中的な大雪時に通行規制して除雪を行う「除雪優先区間」を設定
- ・車両退避スペース、チェーン着脱場の整備、牽引車両の事前配備、監視カメラの増設
- ・除雪機械を増強配備し、区間を分けて効率的な除雪を実施
- ・A I 技術を活用した交通障害自動検知システムの試行
- ・国を主体とした「福井県冬期道路情報連絡室」の設置
- ・集中的な大雪時を想定したタイムラインを作成
- ・降雪予報を踏まえ、国が他地方整備局に支援準備を依頼 等

[国土交通省に要請]

- ・信頼性の高いハード対策の実施（国道8号の福井県・石川県境の4車線化と南越前町～敦賀市のバイパス化、中部縦貫自動車道の早期開通）

- ・道路状況確認カメラの増設と関係機関のカメラとの連携強化
- ・交通需要抑制につながる情報の発信方法を検討
- ・チェーン・スコップ・牽引ロープ等の携行を周知徹底
- ・公共交通機関等の意見を聞き、昼間除雪を含む除雪頻度、最重点除雪路線等の見直し
- ・除排雪機械の増強
- ・排雪場の増設や排雪場の開設時間の見直し
- ・除雪機械にGPSを設置し、履歴の把握と機械の効率的な再配備
- ・必要に応じて除雪業者の担当区間や除排雪機械の配備を見直し
- ・除雪オペレータの養成（掘起し）
- ・土木事務所が行う通行規制等の現場対応に、他所からの応援

## II 県・関係機関の対応

### ○県災害対策本部の設置

- ・2月6日に災害対策本部を設置し、関係機関（国土交通省福井河川国道事務所、中日本高速道路、JR西日本、えちぜん鉄道、福井鉄道、市町等）との調整を実施

### ○県民生活の確保

- ・経済産業大臣に燃料の優先供給を要請
- ・広域支援の受入れや除雪機械の割振りなどによる生活道路の除雪支援
- ・不要不急の自動車利用を控えるよう県民向けメッセージ
- ・自衛隊（滞留車両の救出、鉄道駅構内等の除排雪）、警察（スタック車両の支援、交通規制）、消防（救急人員増員による救急活動）による住民の安全確保

### 【公共交通機関】

[JRに要請]

- ・公共交通機関としての使命を果たすための初動体制を強化
- ・極力運休が発生しないよう除雪車両・人員の効率的運用を実施し、運休した場合でも部分的な運行再開

(JR)

- ・除雪車両の運用改善、トラブル防止
- ・降雪予報エリアの細分化や積雪深計の増設
- ・積雪状況確認カメラの増設、積雪深確認のための積雪観測標設置

(福井鉄道、えちぜん鉄道)

- ・除雪車両の増強等
- ・道路管理者による踏切や軌道部分の除雪
- ・駅構内の除雪機械や要員の確保
- ・分岐器の融雪装置の新設、改修

(バス)

- ・除雪状況に応じたルート変更など柔軟な運行を実施
- ・市町や沿線自治会等と協力したバス停付近の除雪

### 【燃料・物流】

- ・マイカーの燃料を満タンにする(約2週間分の余裕)
- ・各給油所にて在庫の積み増し(満タンで約4日分の余裕)

- ・輸送会社敷地内の出庫し易い位置でのタンクローリーの待機
- ・前日からの泊まり込みなどによる運転手の確保
- ・県外からの代替配送経路の事前確保
- ・インター近く等の給油所を拠点とした優先的な配送
- ・卸売市場、仲卸業者、スーパーにおいて、通常より入荷量や在庫量を増やし備蓄
- ・各家庭において食料を備蓄するよう周知
- [経済産業省に要請]
- ・災害時の燃料供給に向けた体制づくり

### 【警察】

- ・交通状況を把握するためのカメラの増設と情報の共有化
- ・様々な媒体を用いた広域的な交通総量抑制に関する広報
- ・除雪時の安全確保、車両内での一酸化炭素中毒の危険性について、適時適切な広報、より丁寧な説明および注意喚起

### 【地域活動】

- ・自主防災組織、消防団等による地域の除雪協力体制づくり
- ・県災害対策本部の設置時、ボランティアセンターを設置
- ・災害救助法を活用した、市町による雪下ろし支援

[内閣府に要請]

- ・災害救助法の適用対象を拡大

### 【情報収集・広報】

- ・災害情報インターネットシステムやドローン、道路状況確認カメラ等を活用した情報収集
- ・テレビのdボタンやカーナビなどを活用し、公共交通機関の運行状況を県民に発信
- ・ケーブルテレビ、SNS等、様々な広報媒体を利用した広報

### 【医療・福祉、産業(企業、農業)】

- ・医療機関や民間企業等のBCP策定、見直し
- ・雪や風に強いハウスの整備、融雪装置やハウスの天井を支える支柱の点検、ビニールの除去を農家ごとに指導
- ・企業に対して、作業時間の短縮や時差出勤等の対応を依頼
- [厚生労働省、文部科学省に要請]
- ・医療施設・社会福祉施設の駐車場や通路などの融雪・消雪化に対する助成制度の創設

[経済産業省に要請]

- ・被災中小企業に対し販路拡大等の経営再建に繋がる措置

### 【学校、公共施設】

- ・道路の集中除雪に合わせて、一斉に休校・休館

### 【財政支援】

[総務省に要請]

- ・前年度の除排雪経費を特別交付税の対象経費に算入するなど、実績に基づく所要額を確保

[国土交通省に要請]

- ・国庫補助交付金は補助率に基づく所要額を確保